

台風に備えて

9月は、1年で最も台風の発生・接近・上陸が多くなる時期です。強い勢力を保ったまま北海道へ接近・上陸することもあり、主に暴風・大雨・高潮・高波による災害をもたらします。台風が接近して災害のおそれがある場合、気象庁は警報や気象情報を発表し、警戒を呼びかけます。また気象庁ホームページでは、必要とする様々な情報を一つのページで閲覧できるサービスを提供しております（図：気象庁ホームページ「あなたの街の防災情報」）ので、キキクル（雨による災害発生の危険度を地図上で確認するサービス）なども参考にしてください。台風による災害から身を守るために、特に以下をチェックしておきましょう。

【台風が接近する前】

- 避難場所までの経路や危険な場所を確認しておく
- ハザードマップで自宅などで起こりやすい災害を把握しておく
- 下記に該当する場合は、早めの避難を検討する
 - ・土砂災害の危険がある斜面のそば
 - ・洪水が起きる危険がある川のそば
 - ・高潮や高波が岸壁を超えてくる危険がある海岸付近
- 避難情報や防災気象情報をどう入手するか確認しておく
- 屋外の植木など飛散しそうなものは屋内に片付けておく

【台風が接近して大雨や暴風の影響を受け始めた時】

- なるべく外出は避ける
- 避難情報や防災気象情報をよく確認する
- 危険を感じたら屋内の安全な場所に自ら移動・避難する
- 川や海岸、防波堤には絶対に近づかない
- 補修などが必要でも、屋根に上ることは絶対にしない

The screenshot shows the JMA website interface for disaster information in Sapporo. It features a navigation bar with 'あなたの街の防災情報' and '札幌市'. Below, there's a section for '警報・注意報 (発表状況)' with a table of current alerts: '大雨警報(土砂災害)', '洪水警報', and '濃霧注意報'. To the right is a '洪水キキクル (危険度分布)' map. A QR code and text prompt users to use the 'あなたの街の防災情報' service for location-specific information.

問合せ 札幌管区气象台 天気相談所 ☎011-611-0170

「防災ガイドマップ」のお届けについて

既に皆様にお配りをしている「防災ガイドマップ」については、余市川の洪水浸水想定区域図において浸水の深さの表示に誤りが生じていたため、新たに「防災ガイドマップ」を作成しております。

新たに作成した「防災ガイドマップ」については、10月上旬から順次、皆様のご家庭にお配りすることを予定しております。

町民の皆様におかれましては、「防災ガイドマップ」を活用され、これまでどおりの防災対策の備えと早めの避難を心がけてください。

問合せ 地域協働推進課 防災グループ ☎21-2142

余市町の空間放射線量率 7月21日～8月23日の本町の空間放射線量率は「平常レベル」でした。
(最高値：45nGy/h、最低値：37nGy/h、平均値：40nGy/h) ※平常時は10～60nGy/h程度